記者発表資料

平成３０年　２月　６日
仙台河川国道事務所

復興道路《三陸沿岸道路》

「本吉気仙沼道路（大谷海岸IC～気仙沼中央IC)」が、平成３０年３月２５日（日）に開通します！

（もとよしけせんぬま／おおやかいがん／けせんぬまちゅうおう）

国土交通省が整備を進めてまいりました「本吉気仙沼道路」の「大谷海岸IC～気仙沼中央IC」が３月２５日（日）に開通する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

今回の開通にあわせて、気仙沼市が整備する追加ICの岩井崎（いわいさき）ICも開通します。

今回の開通は、東日本大震災後、気仙沼市では初めての開通となります。

《トピック》

①津波浸水区域を回避でき、信頼性の高い高速ネットワークが形成されます。
②地域の基幹産業である水産業の振興を支援します。
③交通分散により、並行現道の混雑が緩和されます。
④救急搬送時の安定・速達性向上が期待されます。
⑤気仙沼市の活性化を支援します。

なお、これまで「大谷、気仙沼階上、気仙沼インターチェンジ（３箇所とも仮称）」として事業を進めて参りましたが、地域からの要望等を踏まえ、名称をそれぞれ「大谷海岸（おおやかいがん）、岩井崎（いわいさき）、気仙沼中央（けせんぬまちゅうおう）インターチェンジ」に決定しましたので、併せてお知らせします。

１．開通区間
　　本吉気仙沼道路（大谷海岸IC～気仙沼中央IC)　　延長７．１ｋｍ

２．開通日
　　平成３０年　３月２５日　日曜日
　　※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせいたします
　　※本吉気仙沼道路は、自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません

３．追加IC※
　　岩井崎（いわいさき）IC（交差道路名　市道岩尻縦貫線）
　　※追加ICは、気仙沼市が道路法第48条の5第2項の規定に基づき、三陸沿岸道路と市道岩尻縦貫線との連結整備を行うものです。

＜記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ、気仙沼記者クラブ＞

【お問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　TEL 022-248-4131
副所長　　遠藤（えんどう）　雅司（まさし）　（内線205）

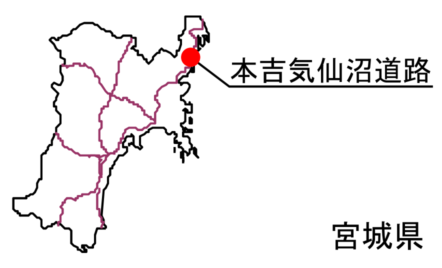
三陸沿岸道路　本吉気仙沼道路（大谷海岸インターチェンジ～気仙沼中央インターチェンジ）位置図

開通済	▬▬▬
事業中	■ ■ ■ ■ ■

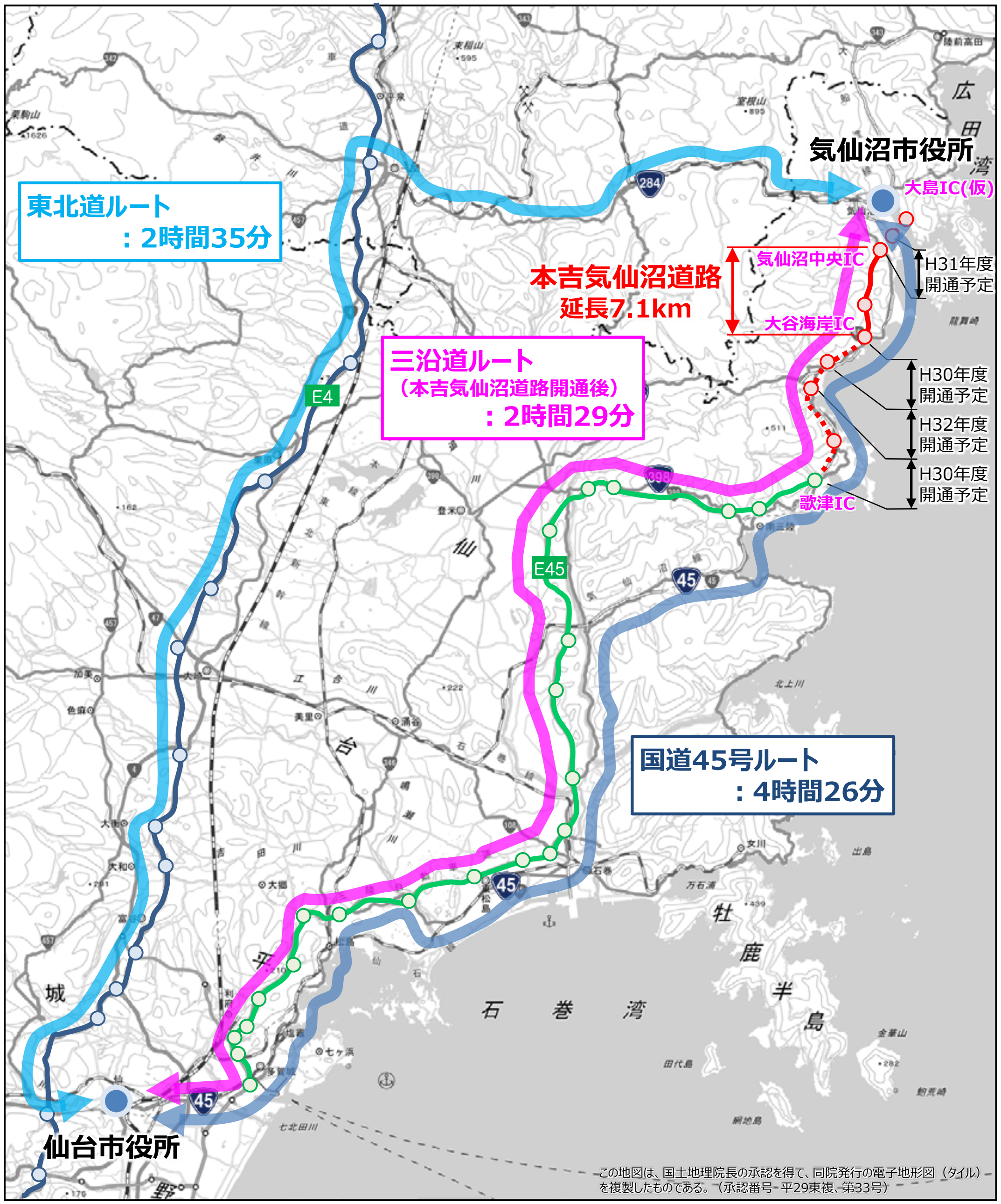
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び電子地形図25000を複製したものである。（承認番号　平28　情複、第44号）

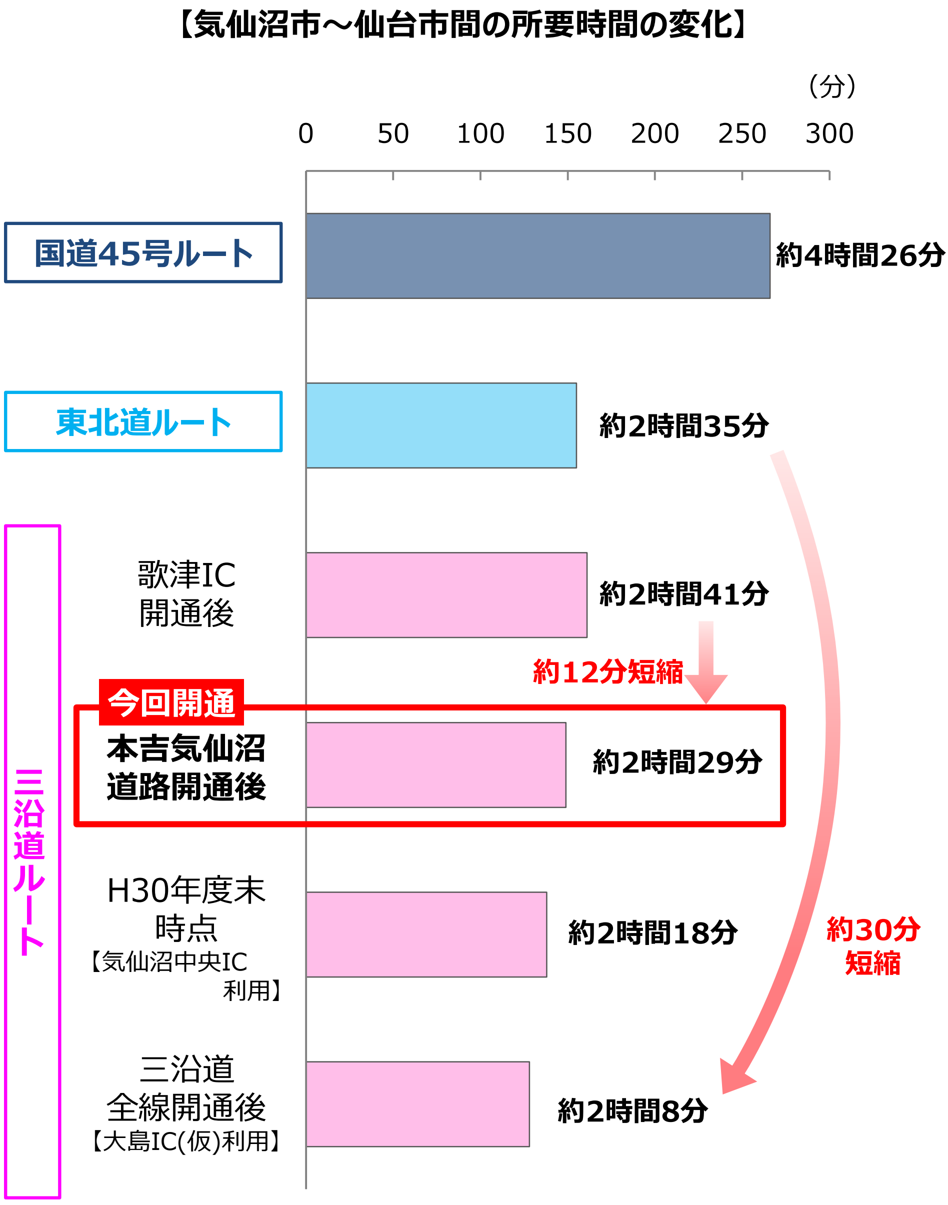
※岩井崎ICから仙台方面への乗り降りは出来ません

※（　）内は、平成27年国勢調査人口



三陸沿岸道路整備による時間短縮

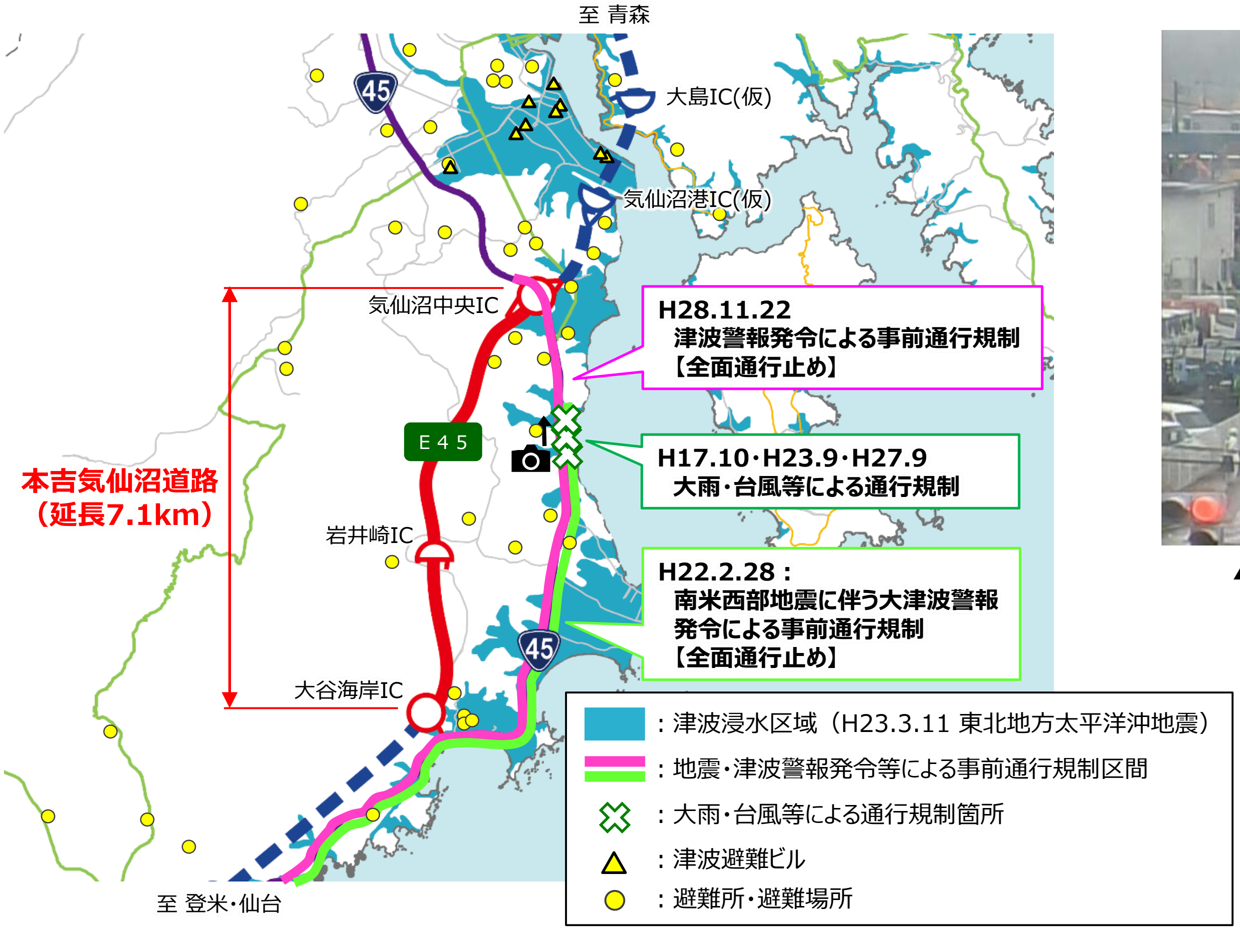




資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）
※気仙沼市役所～仙台市役所間の所要時間
※H27以降の開通区間は、道路構造に応じた速度で算出

［本吉気仙沼道路］津波浸水区域を回避でき、信頼性の高い高速ネットワークを形成

◆東北地方太平洋沖地震（H23.3.11）では、気仙沼市内において津波により国道45号が浸水し、交通ネットワークが寸断
◆また、大雨による通行規制や、津波警報発令による通行止め等も発生
◆本吉気仙沼道路の整備により、津波浸水区域を回避でき、災害時にも緊急輸送路として機能する信頼性の高い高速ネットワークを確保



▲国道45号の津波浸水状況および通行規制状況等

▲豪雨災害時の国道45号の冠水状況（H27.9）【最知付近】

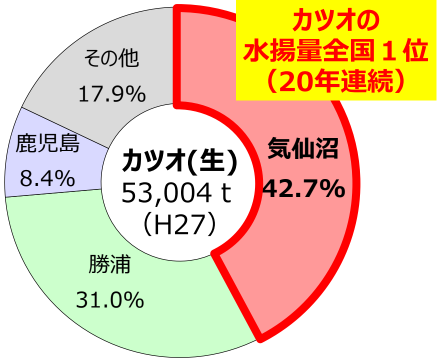
【気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 消防本部の声】

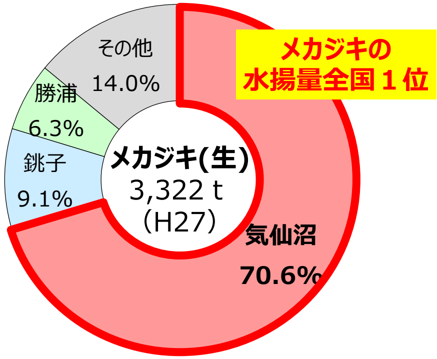
●国道45号は**並行路線がない**のが問題です。
交通事故等が発生すると、迂回路がないので、**上下線とも大渋滞してしまうことが年に何度もあります**。
三沿道が整備されると**代替路が確保**できます。

［本吉気仙沼道路］地域の基幹産業である水産業の振興を支援

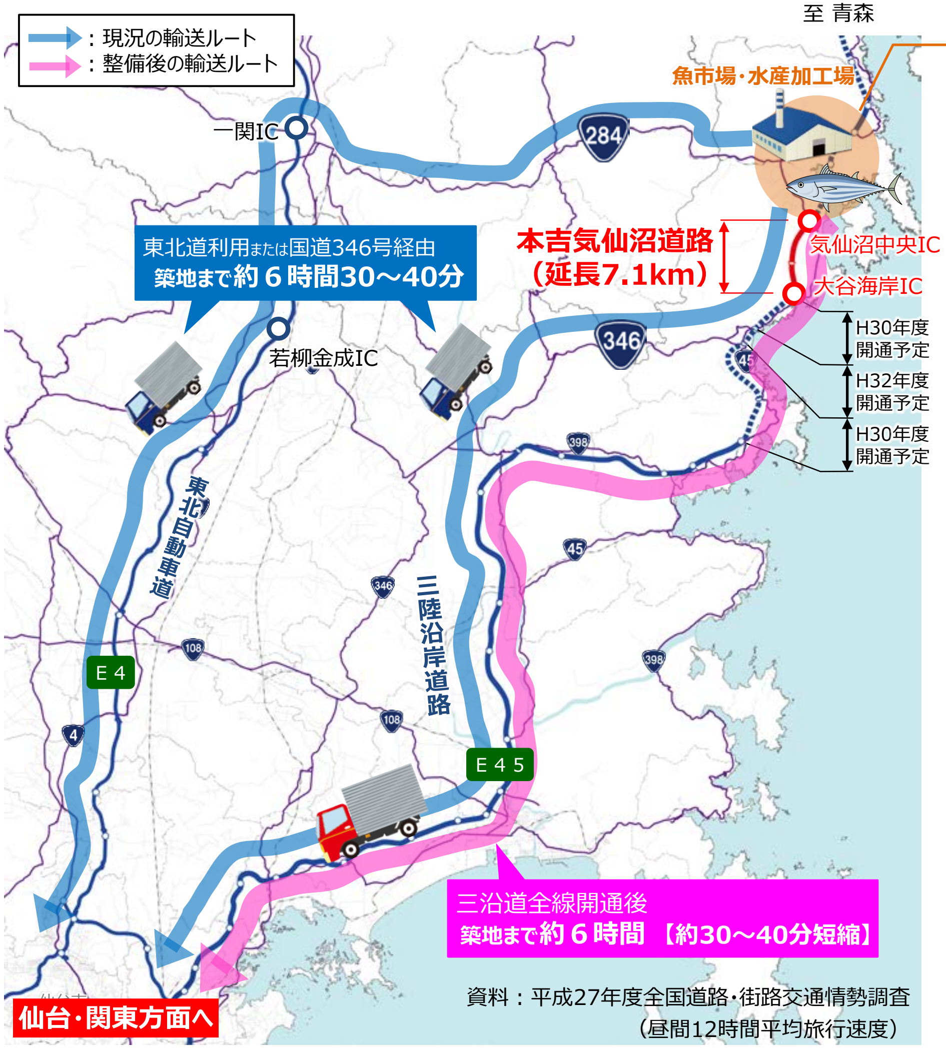
◆気仙沼市はカツオやメカジキの水揚量シェアが全国１位
◆現在、気仙沼市や水産関連企業、流通関連企業では、水産品の輸送の効率化やさらなる販路拡大に向けた取り組みを推進中
◆三陸沿岸道路の整備により、輸送時間の短縮が図られ、輸送効率化や販路拡大に向けた取り組みの推進を支援
◆本吉気仙沼道路はその一部を形成し、地域の基幹産業である水産業の振興を支援

【漁港別の水揚量シェア】





資料：2015年産地水産物流通調査



▲気仙沼市から仙台・関東方面への輸送ルートと所要時間

気仙沼市における輸送効率化・販路拡大に向けた取り組みの例

■「かつおの日」を制定
平成29年より７月第３月曜日（海の日）を「気仙沼かつおの日」に定め、カツオの消費拡大や地域活性化を推進

■気仙沼メカジキのブランド化の推進
平成27年度にブランド化推進委員会を立ち上げ、気仙沼メカジキの認知度向上や販路拡大に向け活動

▲メカジキ紹介本の作成・配布

▲メカジキを使った料理を市内の飲食店で提供

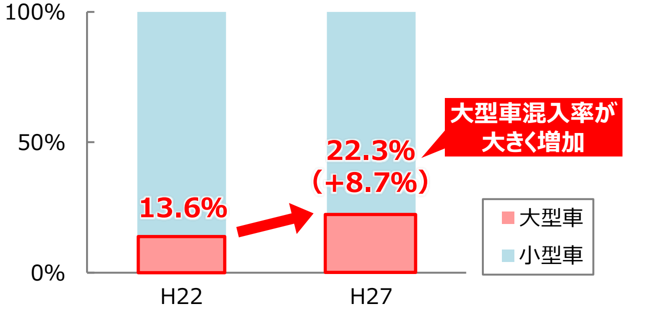
■水産物共同配送の検討
気仙沼水産物荷捌き事業組合（市役所や流通関連企業で構成）にて、共同配送の実施や、そのための荷捌き場整備等について検討

【気仙沼市の水産関連企業の声】
●三沿道の開通により輸送時間が短縮すれば、その分を作業時間に充てることができ、**生産量の増加・売上げの増加**につながります。
●輸送時間の短縮により、**朝採れ品の販売エリアが拡大**することが期待されます。

［本吉気仙沼道路］交通分散により、並行現道の混雑が緩和

◆本吉気仙沼道路に並行する国道45号には、主要渋滞箇所が複数存在
◆また震災以降、復興事業関連車両の増加等により交通混雑が悪化し、走行速度が大きく低下
◆本吉気仙沼道路の整備により、交通分散が図られ、国道45号の混雑緩和が期待
◆混雑緩和に伴う所要時間の短縮により、国道45号を利用する企業の物流効率化にも寄与

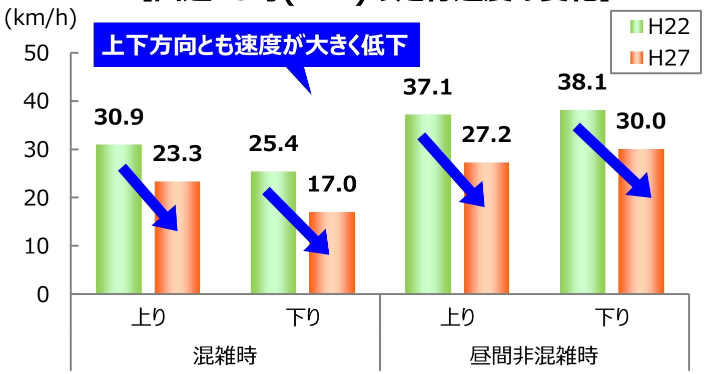
【国道45号( )の大型車混入率の変化】



資料：平成22年度･平成27年度全国道路･街路交通情勢調査

▲写真①
国道45号の大型車通行状況【大谷付近】

【国道45号( )の走行速度の変化】



資料：平成22年度･平成27年度全国道路･街路交通情勢調査

▲写真②
国道45号の混雑状況【岩月付近】

【気仙沼市内立地企業や協同組合の声】

●国道45号の階上地区は**渋滞が著しく**、**通過に20～25分**程かかることもあります。三沿道が整備されれば、**10分程度で通過できるようになる**と思います。
●**荷物の集配時に当該区間を利用**するので、１区間でも整備されると助かります。**輸送時間の短縮**により、**ドライバーの拘束時間が縮減**されるため、メリットは大きいです。

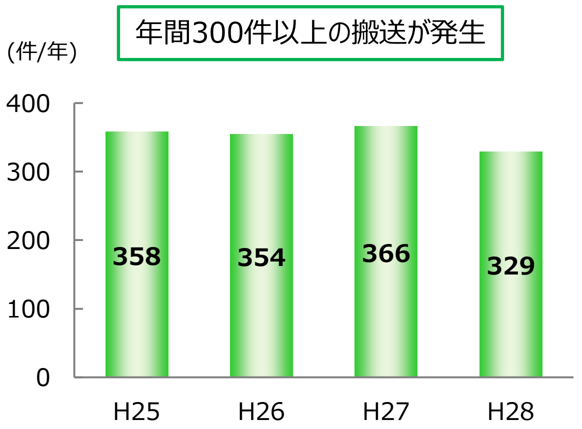
[本吉気仙沼道路] 救急搬送時の速達性が向上

◆南三陸町や本吉地域から気仙沼方面への救急搬送件数は年間300件以上
◆本吉気仙沼道路の整備により、現況の渋滞箇所を回避することが可能
◆新気仙沼市立病院への搬送時間が短縮し、救急搬送時の速達性向上に寄与

▲国道45号の走行状況【岩月付近】

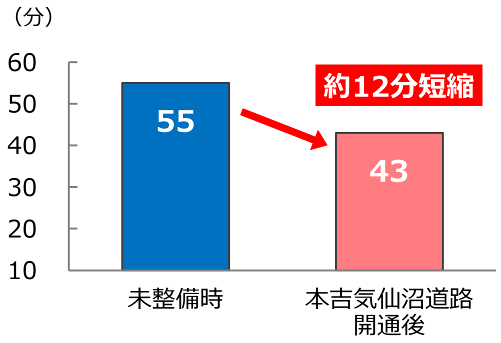
**【気仙沼・本吉地域
広域行政事務組合消防本部の声】**
●国道45号は大型車が増えたこと等により、スムーズな追い越し走行ができず、**以前よりも所要時間が長くなっている**ように感じます。**渋滞箇所の並行区間が整備されると効果が大きい。**

【南三陸町・本吉地域から気仙沼市立病院への搬送件数】



資料：気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部提供資料

【南三陸町～新気仙沼市立病院間の所要時間】

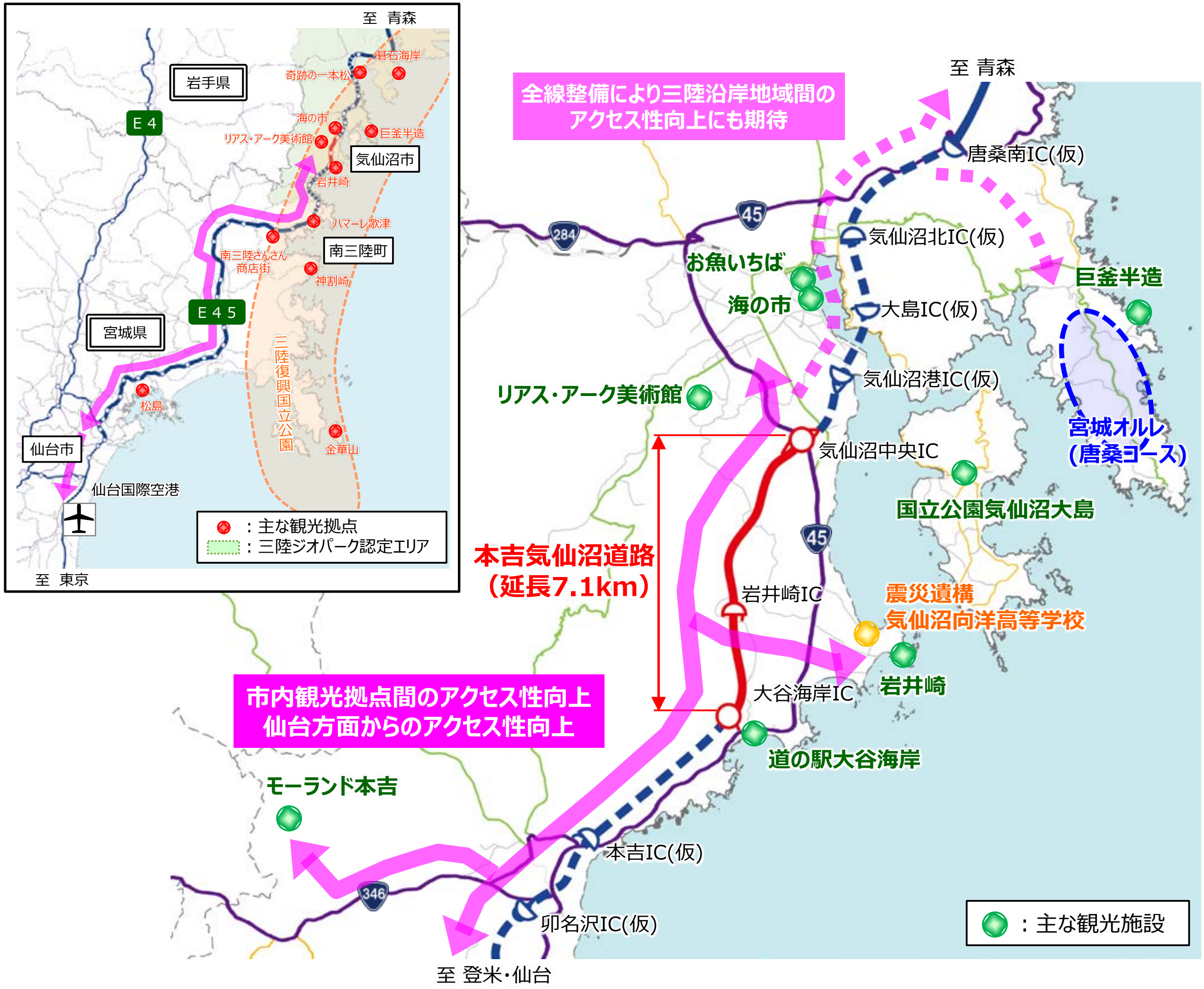


資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）

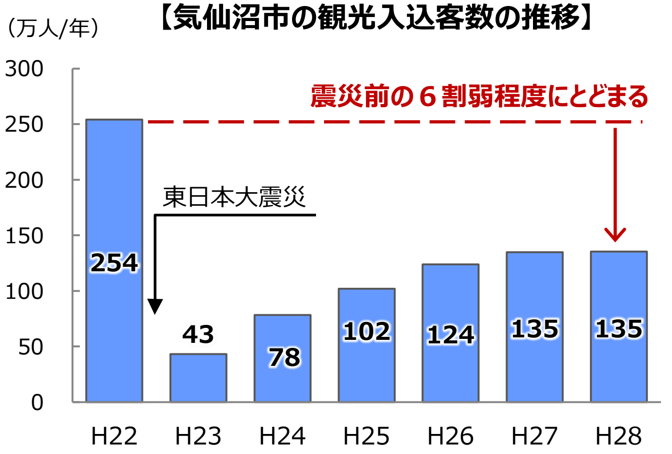
［本吉気仙沼道路］気仙沼市の活性化を支援

◆気仙沼市の観光入込客数は、東日本大震災時に大幅に落ち込み、現在も震災前の６割弱程度の水準
◆気仙沼市内には観光施設・観光資源が点在しているほか、H29.11には韓国版トレッキングコース「オルレ※」に認定【国内２例目】
◆本吉気仙沼道路の整備により、仙台方面から気仙沼市へのアクセス性が向上し、交流人口の拡大や滞在時間の増大、日帰り観光圏の拡大など、観光の活性化を支援

※「オルレ」とは韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味。オルレの魅力は、自然を五感で感じ、自分のペースでゆっくりとコースを楽しむところにある。



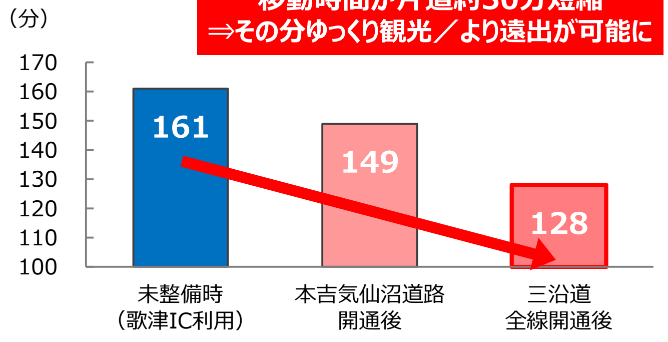
【気仙沼市の観光入込客数の推移】



資料：宮城県観光統計

【気仙沼地域～仙台市間の所要時間】

移動時間が片道約30分短縮
⇒その分ゆっくり観光／より遠出が可能に



資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査
（混雑時旅行速度）